

Green Site License のご紹介

<http://www.gsl-co2.com>

「Green Site License」とは貴社サイトが排出するCo2をオフセットするサービスです

GSLオフィシャルサイトイメージ

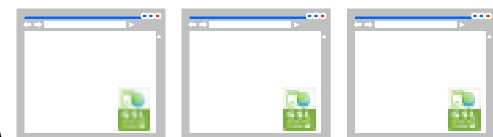


排出したCO2を
カーボンオフセット！

WEBサイトを運営
することで発生す
るCO2(サーバの
電力など)

企業が運営するWEBサイト

WEBサイトを運営することで発生
するCO2をGreenSiteLicense(ラ
ウル株式会社)がカーボンオフ
セットします。



「カーボンオフセット」ってなに？

カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において避けることができないCO₂等の温室効果ガスの排出について、その排出量を見積り、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です(環境省発表資料より抜粋)

カーボンオフセット概念図

(例) 10t の
CO₂を排出



日常生活や経済活動
によるCO₂排出



排出したCO₂を埋め合わせる
(=カーボンオフセット)

10t分の排出権を
購入

排出権取得



10t分を吸収する
植林事業に
投資



植林事業

10t分を削減する
クリーンエネルギーに
投資



クリーンエネルギー

CO2削減の方法として「カーボンオフセット」という取組みが浸透しつつあります

カーボンオフセットを組み込んだサービス例

- ・個人向け「CO2オフセット」海外旅行
(2008.3 JTBグランドツアー & サービス)
- ・教育旅行にカーボンオフセットを導入
(2008.5 近畿日本ツーリスト)
- ・「カーボン・オフセット制度」
(2005.9 ブリティッシュ・エアウェイズ)
- ・搭乗距離によるカーボンオフセットの販売
(2007.11 ヴァージンアトランティック航空)
- ・「カーボンオフセット付き光接続サービス」
(2008.5 株式会社朝日ネット)

カーボンオフセット付加商品例



カーボンオフセット年賀 (2007.12 日本郵便)



環境優選みんなのバッグ (2007.10 株式会社西友)

カーボンオフセットにはメリットと課題点が存在します

メリット

- ・CSR(企業の社会的責任)の具体的行動としてのステークホルダーへのアピール
- ・従業員の環境への意識を高める社員教育の一環
- ・将来的な条例や規制などの対策

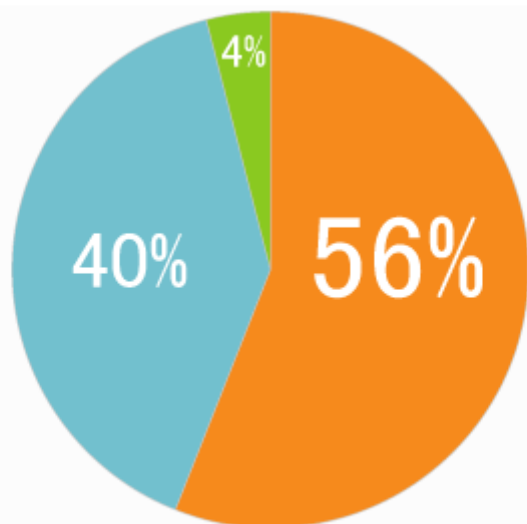
課題点

- ・企画 制作 実行までの期間的問題
- ・企画に関する予算的問題
- ・具体性に欠ける企画ではPRが不十分

カーボンオフセットはメリット・デメリットを考慮したうえでの導入が必要です

地球環境に対する認識と温暖化ガス排出量の推移は以下の通りです

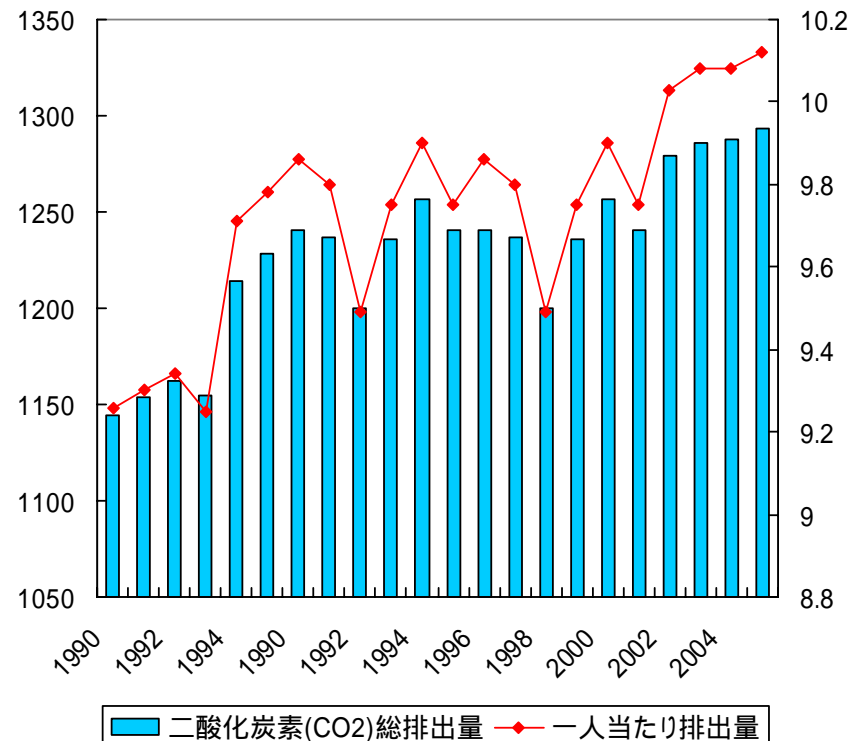
地球温暖化の認識



■ 身近な問題である ■ ある程度身近な問題である ■ あまり身近な問題ではない

2007.8 (財)経済広報センター調べ

日本の二酸化炭素排出量の推移



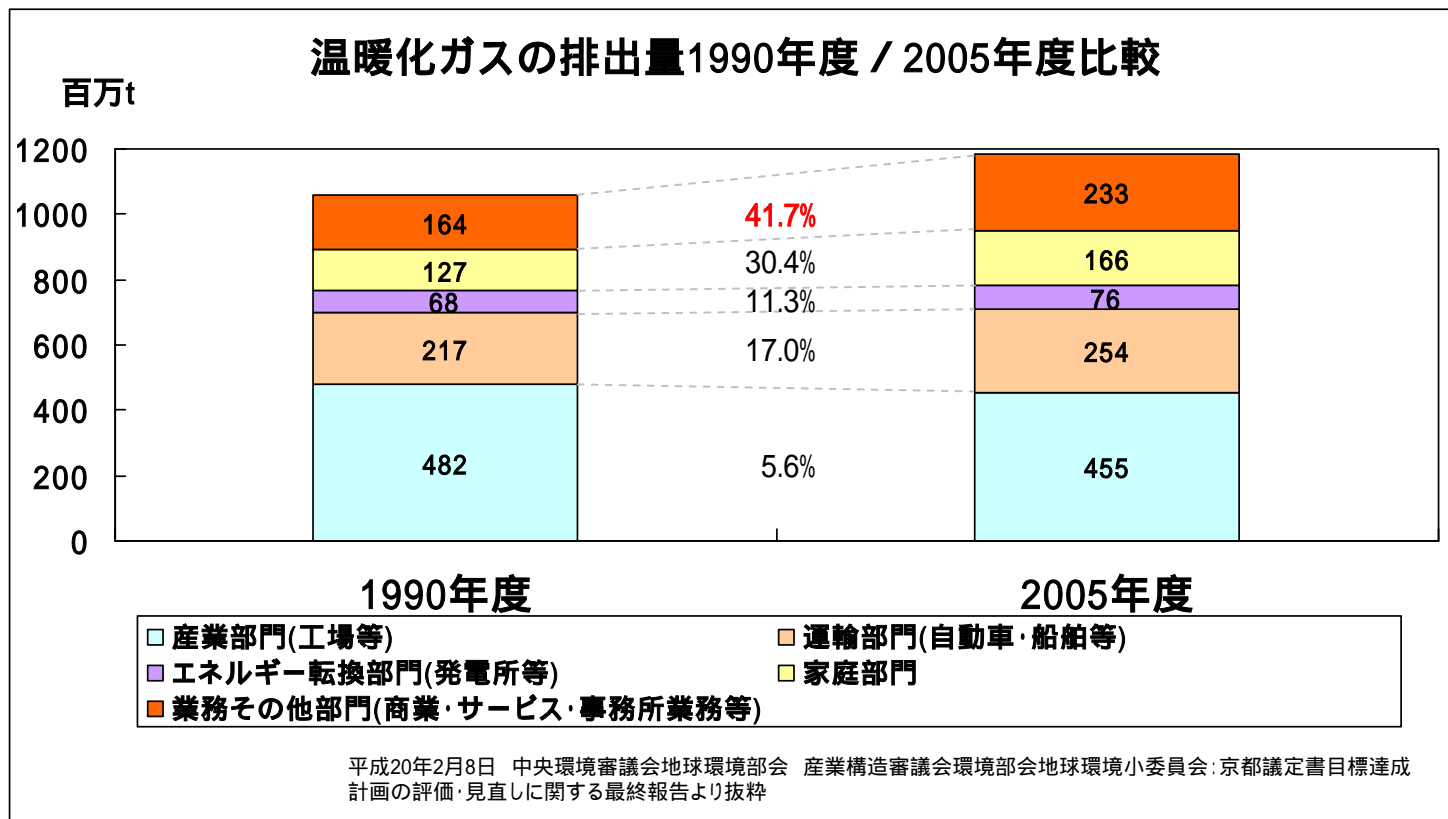
(JCCCA調べ)

上記のデータから9割以上の人々が環境問題に関して何らかの認識や問題意識をもっているが、一方、温室効果ガスは増加傾向にあることがうかがえます

日本は2012年までに温室効果ガス排出量を1990年比で6%削減することが課されています

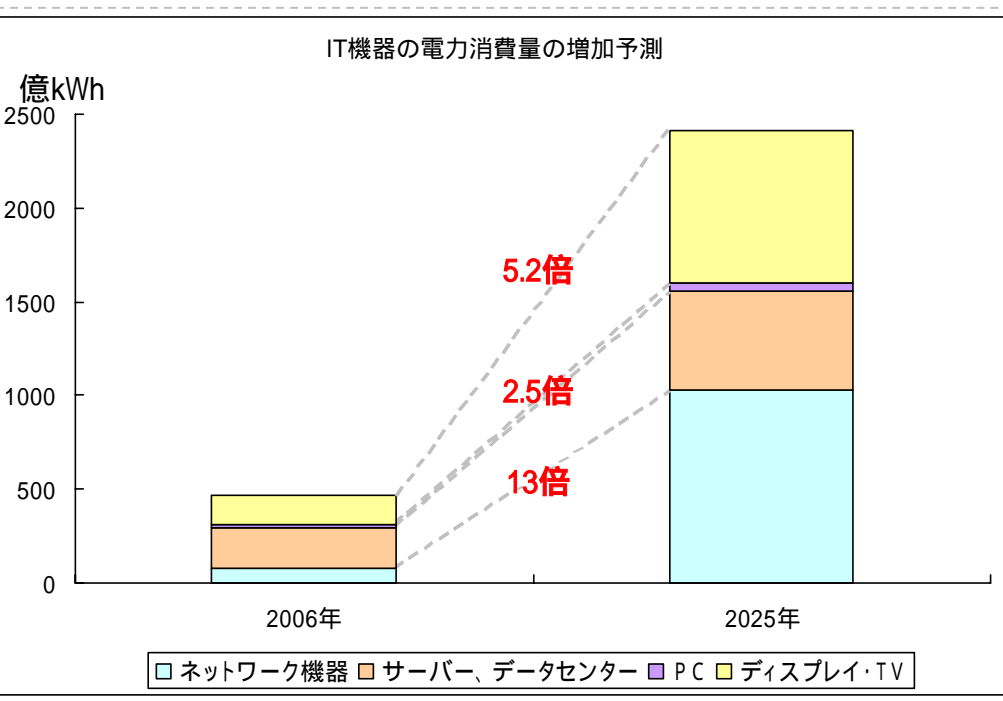
実態：1990年比で国内全体の温室効果ガスは増加。

とりわけ、サービス業やオフィス・事務所における業務などで発生する温室効果ガスの増加率が顕著です
(1990年度比で41.7%)



今後はオフィスや事務所における業務での大幅なCO2削減が求められていくことが予測されます

オフィス機器の中でもIT機器の電力消費量は約20年で急増すると予測されています



IT機器	2006年	2025年	06年 / 25年比
ネットワーク機器	80億kWh	1033億kWh	13倍
サーバー、データセンター	214億kWh	527億kWh	2.5倍
P C	16.6億kWh	41.2億kWh	2.5倍
ディスプレイ・TV	156億kWh	816億kWh	5.2倍

経済産業省主催研究会調べ

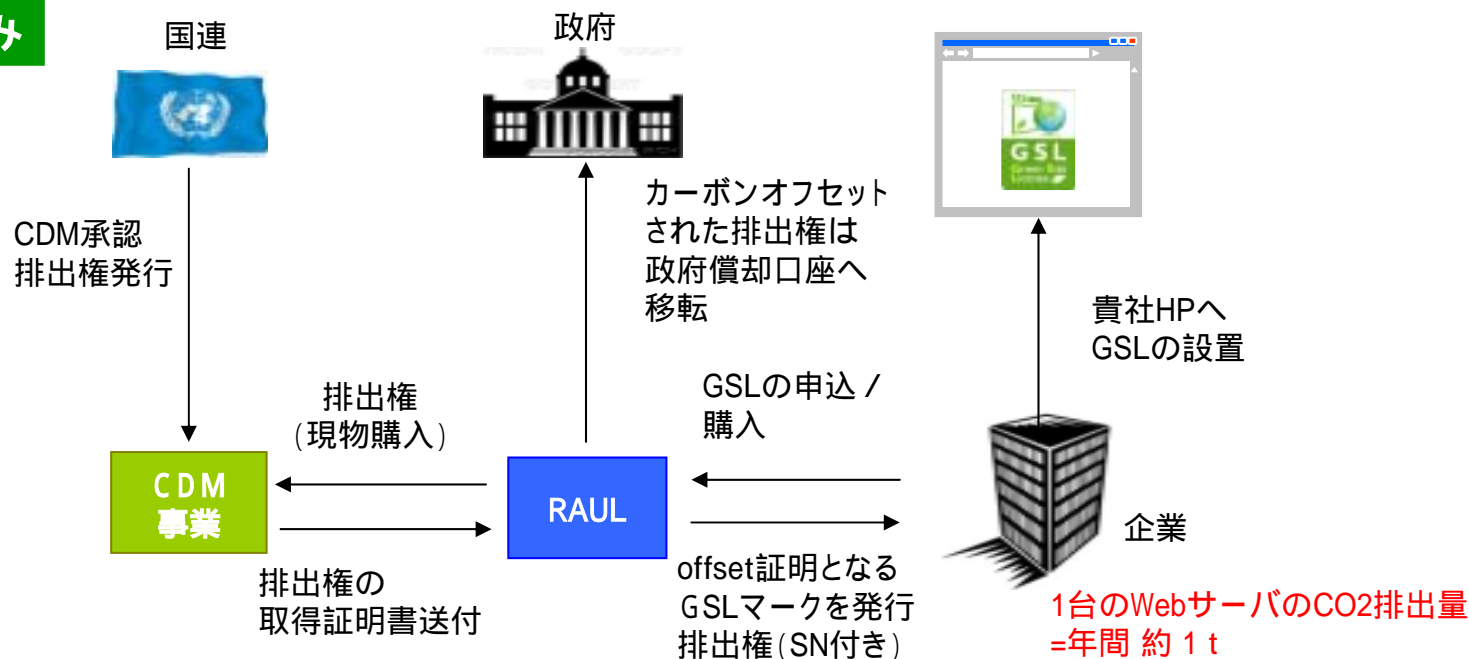
オフィス業務でもIT関連の消費電力を抑制・削減することが今後の課題になります

GSLで貴社のWebサイトのCO2排出量をオフセット



Green Site License (GSL)とは、「企業が気軽に参加できる温暖化対策」です

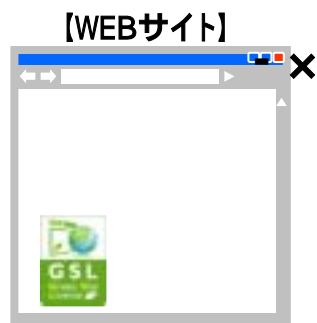
GSLの仕組み



ITを一番身近に感じることができるWEBサイトをカーボンオフセットすることで、企業や消費者が環境保護を身近に感じる機会を提供するサービスがGreen Site License (GSL) です

GSLの認証機能とご利用料金は以下の通りです

GSLの認証機能について



ロゴをクリックで確認！
【認証ページ表示】



【認証ページに表示される内容】

シリアルNo : 国連が認証した排出権のシリアルNo.
co2相殺量 : co2を相殺した量
ステータス このサイトが有効かを表示
企業名 登録している企業名を表示
登録ドメイン 登録しているURLを表示
有効期限 排出権の有効期限を表示

ご利用料金

契約プラン	金額
1年契約	¥5,250 (税込)

GSLへのご登録までの流れは以下の通りです

ご登録の流れ

STEP 1

お問い合わせフォームよりGSLのお申込



GSLサイト(<http://www.gsl-co2.com>)にあるお問い合わせフォームよりGreen Site Licenseのお申込みをしてください。
弊社より申込書などを送付いたします。

STEP 2

申込書を送付して料金をお支払い



申込書をFAXにて弊社にお送り下さい。その後指定口座に料金を振り込んでいただきます

STEP 3

GSLシールアクセスURLを送付 設置

入金確認後、メールにてGSLシールへのアクセスURLの送付と設置マニュアルなどを送付いたします

Q: 日本の二酸化炭素排出量は？

A: 日本国内でのCO2排出量は年間12億93000万tCO2(2005年)です。

Q: 京都議定書とは？

A: 1997年12月に京都で開催された「気候変動枠組条約第3回締結国会議(COP3)」で採択された、二酸化炭素(CO2)など6種類の温室効果ガスについての排出削減義務などを定めた議定書です。

Q: 京都議定書の削減目標は？

A: 日本は2012年までに温室効果ガス排出量を京都議定書基準年(1990年)比で6%削減することが課されています。

Q: 京都議定書の削減目標の進捗は？

A: 2005年時点で7.8%のプラスです。つまり2012年までに1990年比で温室効果ガスを6% + 7.8% = 13.8%削減しなければいけません。

Q:GSLはどのように温暖化防止対策につながるのですか？

A:GSLは国連で認められたCDM(クリーン開発メカニズム)から創出される排出権(CER)を取得してオフセットを行います。京都議定書に活用できる排出権のひとつがCERで、1t相当のCERは1tのCO2削減効果があります

Q:WebサイトのCO2排出量はどのような計算をして出しているのですか？

A:Webサーバの消費電力(0.2kW～0.3kW)×使用日数(365日)×使用時間(24時間)×CO2排出係数(0.000555t-CO2 / kWh) = 0.97～1.45t という計算式を用いています

Q:CO2排出係数とは何ですか？

A:CO2排出係数とは、電気の供給1kWhあたりどれだけのCO2を排出しているかを示す数値です。経済産業省・環境省令第3号に定めるCO2排出係数のデフォルト値が0.000555t-CO2です。

Q:GSLの取得と排出権の購入の違いは？

A:GSLは貴社が使用しているWebサーバー1台分(1年間)のCO2排出量(約1t)をオフセットするサービスです。排出権の購入に関しては、現状では1000t単位以上の取引が主流となっております。

Q:GSL取得に何かの資格は必要ですか？

A:特に必要な資格はございませんが、法人であることと自社のWebページをお持ちであることが必要条件となります。

問合せ先

RAUL株式会社

担当 : GSL推進チーム

TEL : 03 - 6411 - 0858

FAX : 03 - 6427 - 8923

Mail : info@ra-ul.com